

2026年4月11日（土）

14:00開演（13:30開場）

コロラトゥーラ・ソプラノとカウンターテナー
二人の声楽家が織りなす至上の響き

田中彩子×藤木大地
デュオ・リサイタル 2026

“Duo Recital 2026 in YAMATOTAKADA”

G.F.ヘンデル：主は羊飼いのようにその群れを養い（オラトリオ《メサイア》より）

E.ショーン：二つの二重唱作品II 第1曲「夜」／第2曲「目覚め」

A.L.ウェバー：ピエ・イエズ

ペルゴレージ：《スターバト・マーテル》 P.77 I. 悲しみの聖母 XII. 肉身は死して朽つるとも

バッハ：《羊は安らかに草を食み》 BWV 208

加藤昌則：レモン哀歌 他…

佐藤卓史(ピアノ)

さざんかホール レジデント・アーティスト

©hiromasa

大和高田さざんかホール・大ホール

■チケット料金【全席指定】

一般3,500円 高校生以下1,000円（当日各500円増）

友の会会員3,000円（1会員4枚まで、前売りのみ）

※小学生以上入場可

※託児保育あり（無料・予約制4/3（金）締切）

■チケット取扱い

大和高田さざんかホール TEL：0745-53-8200

ローソン <https://l-tike.com>（Lコード：54009）

さざんかホール「ホールはこころのレストラン」プロジェクト

市内在住の親子をご招待！

小学生から18歳までの方と引率者のペアで無料招待します。



詳細・申し込みは・・・

■チケット発売日

友の会先行予約開始 2/4（水）～

一般発売開始 2/7（土）～

※一般発売開始日の窓口販売は9:00～、電話予約は14:00～

■お問い合わせ



大和高田さざんかホール

〒635-0082 奈良県大和高田市本郷町6-36

TEL.0745-53-8200

■近鉄難波駅から大和高田駅まで約40分

■近鉄大和高田駅より徒歩約10分

■JR高田駅より徒歩4分

■近鉄高田市駅より徒歩12分

■奈良交通バス天神橋駅下車すぐ

★車で越しの方はJR高田駅西側駐車場（駐車台数200台・有料）をご利用下さい。

<https://www.city.yamatotakada.nara.jp/sazankahall/>



ハイコロラトゥーラの美しい歌声で人々を魅了する田中彩子 と奇跡と呼ばれるカウンターテナー藤木大地が共演する プレミアムなりサイトル



田中彩子 (ソプラノ) AYAKO TANAKA, SOPRANO

18歳で単身ウィーンに留学。22歳でスイスのベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初、かつ最年少でのソリスト・デビューを飾る。国際ベルヴェデーレ・オペラ・オペレッタ・コンクールにてオーストリア代表として本選出場を果たし、ウィーン・フォルクスオーパー歌劇場のオペラ『ホフマン物語』オランピア役のカバーを務めたことを皮切りに、オーストリア政府公認オペラツアー: モーツァルト『魔笛』の“夜の女王”役で2012年から3年間にわたって出演。オルフ『カルミナブラーナ』のソリストとして、ウィーン2大コンサートホールの1つウィーン・コンツェルトハウスにて大成功を収め、ロンドン・ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との定期コンサートでイギリス・デビュー。作曲家 エステバン・ベンセクリが彼女の声にインスピレーションを受け作曲した、「コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための5つのサークルソング」でアルゼンチン最優秀初演賞を受賞。イギリス BBC ミュージック・マガジンにて5つ星を受賞。プエノスアイレス・ムジカ・クラシカ・マガジンの表紙を飾る。日本でも2014年のデビュー以来、国内での演奏活動を重ね、MBS「情熱大陸」やNHK BS「ザ・ヒューマン」などのメディアにも多数出演。2019年NEWS WEEK誌「世界が尊敬する日本人100」に選出。京都府あけぼの賞受賞。広島AICJ中学・高等学校理事長。ウィーン在住。

藤木大地 (カウンターテナー) DAICHI FUJIKI, COUNTERTENOR

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン《メディア》ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック《クレリアの勝利》マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。2021年、3枚目のアルバム「いのちのうた」をリリース。近年では、アメリカ2都市やシンガポールでのリサイタル、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル《ロデリンダ》ベルタリード、新国立劇場J.シュトラウスⅡ世《こうもり》オルロフスキー公爵をはじめとする世界各地での演奏活動、全曲を無伴奏で収録した5枚目のアルバム「A cappella II」(テレビマンユニオン)のリリース、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。京都市立芸術大学専任講師(2026-)、洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー(2021-2023)。Official Website: www.daichifujiki.com

佐藤卓史 (ピアノ) TAKASHI SATO, PIANO

秋田市出身。高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間、2007年シュベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントゥ国際コンクール第1位など受賞多数。ウィーン楽友協会をはじめとするヨーロッパの主要コンサートホールのほか、2011年にはシリア・ダマスカスのダール・アル・アサド文化芸術劇場でソロ・リサイタルを開催した。これまでにNHK交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、シドニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団等と共演。2007年にソロデビューアルバム「ラ・カンパネラ〜珠玉のピアノ小品集」(ナミ・レコード)をリリース以来、レコーディング活動にも力を入れており、日本と欧州で多数のCDを発表。2014年より「佐藤卓史シュベルトツィクルス」を展開、ライフワークとしてシュベルトのピアノ曲全曲演奏に取り組んでいる。室内楽、作編曲など幅広い分野で活躍している。